

ほの宵まつり



9



7



3



2



1



8



5



4



10



12



11



色とりどりの画像を無作為に組み合わせ投写する「D-K(デジタル掛け軸)Live」が10月30日から11月1日までの3日間、有朋の里泗水孔子公園で開催されました。異国情緒あふれる中国宮廷建築様式の建物に、色鮮やかな幾何学模様が浮かび上がると、訪れた大勢の観客からは感嘆の声が。歴史文化と現代アートの融合が、来場者を幻想の世界へと導きました。

「ほの宵まつり」は11月中の8日間、菊池神社などで開催され、竹灯籠などからこぼれるほのかな明かりが一带を包み込みました。

会場には500本以上の竹で制作された灯籠やモニュメントが並び、来場者を歓迎の明かりでおもてなし。子どもたちの思いが込められたぼんぼりと共に会場を照らしていました。

2015 菊池の灯り

The light of Kikuchi



AR

D-K LIVE

1.3.8.12. 着火作業には大勢の市民がボランティアで参加 2.9. 子どもたちの夢や思いが込められたぼんぼり 4.10. さまざまなデザインの灯籠が各会場に設置された 5.11 月 22日の最終日には菊池一族の家紋を描いた巨大な地上絵が菊池市民広場に現れた 6.7. 建物に映し出される色鮮やかな掛け軸模様。時間をかけてゆっくりと姿を変えていった 11. 松倉邸にも竹灯籠が飾られ多くの来場者が足を止めていた